

以下、本文-----

《膵癌における病理学的完全奏功の検討》に関する研究

1. 研究の対象

2003年1月-2016年12月までの間に術前治療後膵癌の切除術をうけ、生体試料の保存に同意いただいた方

2. 研究目的・方法

目的：膵癌における病理学的完全奏功の意義を検討することを目的としています。

方法：2003年1月-2016年12月までの間に術前治療後膵癌の切除術をうけ、生体試料の保存に同意いただいた症例を抽出し、病理学的治療効果を分別し、微小な浸潤癌の遺残症例、浸潤癌の消失している症例を比較して微小浸潤癌遺残の臨床的意義を調べます。また浸潤癌が消失していた症例の中で微小な癌細胞が膵管内に遺残していた症例としていなかった症例を比較して微小膵管内癌遺残の臨床的意義を調べる、単施設・後ろ向き研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴等

試料：手術で摘出した組織等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化器外科：研究責任者 山田 大作

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上-----